

■ 廃止の理由

- 全社的に昨年11月に経営体質強化プロジェクトが発足しとりまとめがなされたように間接経費の見直しが4月より進行中。またそこにコロナの影響も重なり、さらなる儉約が今後求められる中でOB向け施策も例外ではなく検討対象とした。
- 供花の最大の課題は、もともと会社側事業場人事では事業売却も含めた大規模な構造改革も常態化している中、最終事業場はどこかという当てはめが非常に困難になっており実質は松愛会会員のみ漏れなく補足されている実態。
- 一方、今の松愛会加入率からすれば、まずそこで不公平感あり。松愛会への加入・非加入は個人の選択であるからそこは割り切ったとしても、今日、家族葬が多かったり、或いは事後報告であったりと松愛会会員の中でも適用がすべて平等というわけではない。
- 供花はご遺族による葬儀の形態、地域の慣習等で手配する基準が一律ではなく、補助金額がばらつくという要素を内在しているが、それが、上記理由でさらに助長されているということが一番大きく、会社としては適用の公平さが保てない供花の廃止を決定した。
- なお、弔電（メッセージ）、香典は松愛会会員であれば基本的に同じレベルを享受できているという認識であり、これは当面継続としたい。

上記理由により、弔事発生時における社長名の供花対応を廃止する。

■ 実施日

2020年 9月 1日より